



# 静銀ティーエム証券

## 投資環境レポート 2018年3月号

### 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために静銀ティーエム証券が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況であり、また、見通しなしいし分析は作成時点での見解を示したものです。したがって、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等は考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の静銀ティーエム証券商品部の見解です。また、静銀ティーエム証券が取り扱う商品における投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

### ● 投資信託にかかるご注意

- ◆ お客様にご負担いただく費用
  - 直接ご負担いただく費用 ・ 申込手数料 上限 3.78% (税込) ・ 信託財産留保額 上限 0.5%
  - 間接的にご負担いただく費用 ・ 信託報酬 上限 2.376% (税込) ・ その他の費用 監査報酬、売買委託手数料等

※「その他の費用」につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を表示できません。

また、費用等の合計額につきましても、申込金額や保有期間等に応じて異なりますので表示できません。

※上記の費用の料率につきましては、当社が販売する投資信託のうち、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※外貨建て外国投資信託の売買、償還等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、当社が決定した適用為替によるものとします。
- ◆ 投資信託のリスクについて
 

投資信託は、主に国内外の株式や債券、REIT、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落（価格変動リスク）や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化（信用リスク）、また外貨建資産に投資する場合には為替の変動（為替リスク）等の影響により基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。ファンドによっては、換金できない期間がある場合や、1日あたりの換金額が制限される場合があります。詳細は各ファンドの契約締結前交付書面（投資信託説明書（交付目論見書）および補完書面）をご確認ください。

### ● 上場有価証券等にかかるご注意

- ◆ お客様にご負担いただく費用
 

上場有価証券等の売買にあたっては以下の手数料をいただきます。

  - ・ 日本株式 約定代金に対して税込み最大 1.188% (最低料金 1,620 円)
  - ・ 新株予約権付社債 約定代金に対して税込み最大 1.188% (最低料金 2,700 円)
  - ・ 外国株式 約定代金に対して税込み最大 1.080%
- ◆ 上場有価証券等のリスクについて
 

株式相場、金利水準、為替相場等の変動等によって上場有価証券等の価格が変動し、損失が生じるおそれがあります。上場有価証券等の発行者等の業務や財産の状況の変化によって上場有価証券等の価格が変動し、損失が生じるおそれがあります。上場有価証券等のお取引の際は、あらかじめ上場有価証券等書面をよくお読みください。

### ● 円貨建て・外貨建て債券にかかるご注意

- ◆ お客様にご負担いただく費用
 

債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。外貨建て債券の売買、償還等にあたり円貨と外貨を交換する際には、当社が決定した為替レートによるものとします。
- ◆ 債券のリスクについて
 

債券の市場価格は、基本的に市場の金利水準の変化に対応して変動します。したがって売却の場合は売却損が生じるおそれがあります。外貨建て債券は為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。債券の発行者等の業務や財産の状況の変化によって債券の価格が変動し、売却損が生じるおそれがあります。上記は、債券のすべてのリスクを表記したものではありませんので、お取引の際は、あらかじめ契約締結前交付書面をよくお読みください。

### 1. 先月の振り返りと今月の注目点・今後の予想レンジ

2月 は月初発表の米国雇用統計により利上げペース加速との思惑から、世界的な株価急落など相場は大荒れとなり、今月も変動幅の大きな調整はもう暫く続く見込み。ただし、米国を中心に景気の先行きに対する堅調な見方は続いているため、4月以降は日米株価の再上昇、為替の対ドルでの円安方向へのレンジ修正、米国10年国債利回りの3%台を上限とした展開を想定。

#### <先月の振り返り>

①株式市場・・・2月2日発表の1月米国雇用統計が市場予想より良好となり、米国利上げペース加速の思惑から米国長期金利が急上昇し、日米株式市場は大幅に下落(2/2~2/9にNYダウが▲10.8%、日経平均が▲10.1%)。中旬には堅調な企業業績を背景に、株価は上昇に転じたものの、パウエルFRB(米連邦準備理事会)新議長の議会証言での利上げ加速の可能性示唆および米トランプ大統領の鉄鋼・アルミニウム輸入関税表明による貿易摩擦懸念などから、日米株式とも再び急落。

②債券、為替市場・・・米国10年国債利回りは、2月21日に2014年1月以来となる2.95%まで上昇し、利上げに対する懸念が増加。米国の大型減税による財政収支悪化および保護主義台頭懸念等を背景にした米ドル下落圧力から、円は対米ドルで一時105円台、対ユーロでは130円台へ上昇。

#### <今月の注目点>

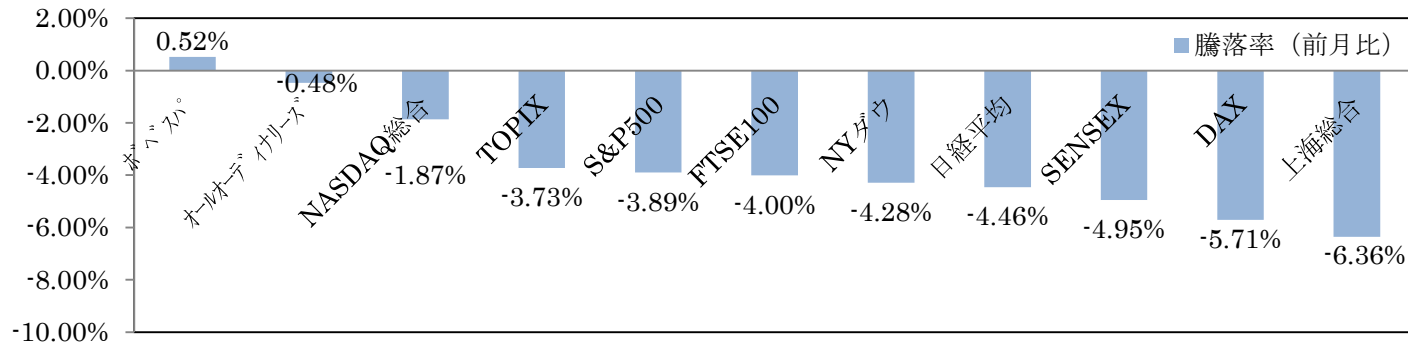
・3月20日~21日のFOMC(米連邦公開市場委員会)・・・0.25%の利上げ実施は確実視。FOMCメンバーが公表する最新の経済見通しにも注目。物価の急伸がないかぎり、年内の利上げ回数(年3回)には変更ないことを見込む。

<今月の予想レンジ> ・日経平均株価 20,000円 ~ 22,500円 為替相場(ドル円) 105.00円 ~ 110.00円  
・日本10年国債利回り 0.00~0.11% 米国10年国債利回り 2.70~3.00%

### 2. 主要投信の運用状況 (2018年2月末)

銘柄名	基準価額 (円)	累積リターン (%)					
		1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年
東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	11,612	-0.29	0.45	1.29	2.09	5.77	23.76
アムンディ・ダブルウォッチ	10,301	-1.21	-1.04	-0.36	0.46	-	-
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンドAコース	10,601	-0.49	-1.29	-1.16	1.38	-	-
高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	5,327	-2.65	-2.48	-3.09	-1.86	-10.03	9.01
新成長株ファンド	33,485	-1.36	6.63	21.01	49.11	140.14	340.46
アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース	22,648	-3.03	1.26	11.24	20.91	31.65	158.43
LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型)	9,616	-4.28	-2.49	-0.68	0.78	3.61	27.16
グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	14,988	-4.90	0.13	14.82	27.80	-	-
グローバルA1ファンド	14,976	1.51	4.69	13.28	27.06	-	-
GSグローバル・ビッグデータ投資戦略Bコース	11,493	-4.02	-0.16	8.89	14.94	-	-
ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド	3,371	-3.41	-10.57	-8.15	-0.39	-7.73	35.94
ニッセイJリートオープン(毎月分配型)	10,494	-1.91	3.05	3.37	-3.84	-3.83	47.89
ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2,332	-7.20	-11.11	-8.44	-11.23	-13.01	29.30

### 3. 株式＜主要株式指標 騰落率(前月比)＞



### ＜主要株式指標 月末終値＞

日経平均	TOPIX	NYダウ	S&P500	NASDAQ	DAX	FTSE100	オーストラリア	上海総合	ブラジル	インド
22,068.24	1,768.24	25,029.20	2,713.83	7,273.01	12,435.85	7,231.91	6,117.30	3,259.41	85,353.60	34,184.04

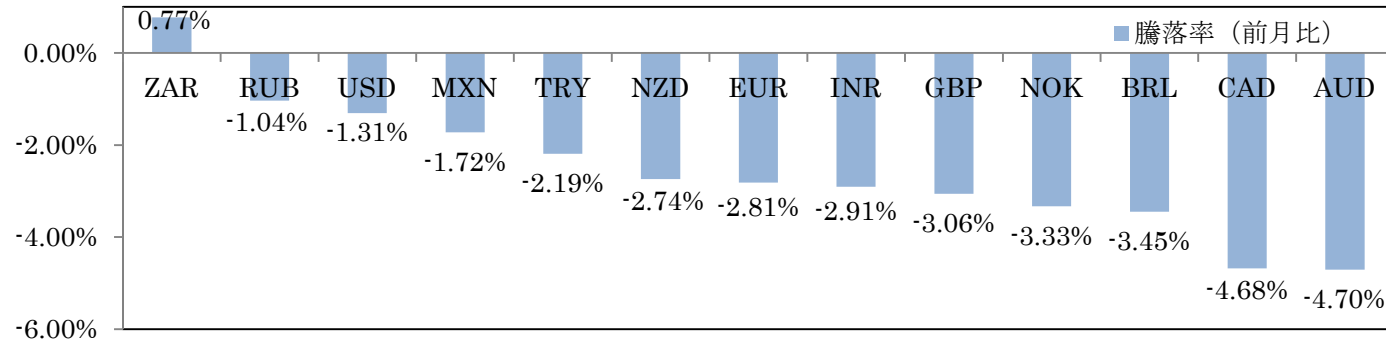
(出所)：QUICKのデータを基に静銀ティーエム証券が作成

**＜先月の回顧＞** 2月2日発表の1月米国雇用統計が市場予想より良好なことを受け、米国利上げペース加速の思惑から米長期金利が急上昇し、日米株式市場は大幅に下落(2/2~2/9にNYダウ▲2,826ドル(▲10.8%)、日経平均▲2,367円(▲10.1%)。中旬には堅調な企業業績を背景に、調整は一時的との見方から株価は上昇に転じ、下げ幅を縮小。しかしパウエルFRB(米連邦準備理事会)新議長の2月27日議会証言での利上げ加速の可能性示唆および3月1日の米トランプ大統領の鉄鋼・アルミニウム輸入関税表明による貿易摩擦発生懸念などから日米株式とも再び急落。

### ＜今後の見通し＞

短期的には、日米市場ともボラティリティーの高い変動幅の大きい調整の継続を想定。ただし、堅調な景気および好調な企業業績を背景に、4月以降は株式市場の再上昇により、日経平均株価は1月高値24,124円超えを見込む。

### 4. 外国為替＜主要通貨対円 騰落率(前月比)＞



### ＜主要通貨対円 月末気配レート＞

USD	EUR	GBP	AUD	CAD	NZD	NOK	BRL	INR	MXN	RUB	ZAR	TRY
107.37	131.28	149.26	83.66	84.07	77.67	13.63	33.02	1.67	5.7	1.91	9.15	28.14

(出所)：QUICKのデータを基に静銀ティーエム証券が作成

### ＜先月の回顧＞

①1月下旬のムニューシン米国財務長官によるドル安容認発言および米国の大型減税による財政収支悪化への懸念により、米ドルへの下落圧力がかかり、円は対米ドルで中旬には一時105円台へ上昇(円高ドル安)。  
②対ユーロでは、月初137円を超えた後に月末には130円台へ上昇(円高ユーロ安)。

### ＜今後の見通し＞

米国長期金利の上昇は米ドル上昇要因であるものの、米国の財政収支悪化や保護主義等が嫌気されており、対米ドルで方向感は見えない展開。当面はボラティリティーの高い株価の値動きに合わせて上下する動きを予想するが、株価が安定してくれば、円安・ドル高方向へのレンジ修正を見込む。

### 5. 債券、リート、商品＜月末気配値 または 終値＞

10年国債	利回り	騰落幅(前月比)	リート(配当込)	指数	騰落率(前月比)
日本	0.045	-0.035	東証リート指数	3,291.44	-1.96
米国	2.862	0.158	S&P米国リート指数	1,094.80	-7.47
ドイツ	0.653	-0.04	S&P豪州リート指数	670.26	-3.15
インド	7.7015	0.2695	商品(米ドル)	指数	騰落率(前月比)
ブラジル	9.607	-0.096	原油 WTI先物	61.64	-4.77
メキシコ	7.640	0.032	金 COMEX先物	1,317.90	-1.88

(出所)：QUICKのデータを基に静銀ティーエム証券が作成

### ＜先月の回顧＞

①1月の米国雇用統計でインフレ率上昇の兆しが強まったことを受け、米国10年国債利回りは、2.85%まで上昇(価格は下落)。2月21日には2014年1月以来となる2.95%まで上昇し、利上げに対する懸念が増加。  
②WTI(原油先物)は、米国の原油在庫やリグ稼働基数の増加を受けて、需給悪化懸念が浮上したため下落。

### ＜今後の見通し＞

①3月20日~21日のFOMC(米連邦公開市場委員会)では0.25%の利上げを見込む。米国10年国債利回りは3%台上限の展開を予想。  
②WTI(原油先物)は原油価格の上昇で、米国のシェールオイル増産により原油在庫が増加してきており、上昇余地は限定的。

### 6. 今月のスケジュール

日本	米国	欧州	その他
8-9日：日銀金融政策決定会合 23日：2月全国CPI	7日：2月ADP雇用レポート 9日：2月雇用統計 13日：2月消費者物価指数 20-21日：FOMC 29日：PCEコア・デフレーター	4日：イタリア総選挙、ドイツSPD党員投票結果判明 8日：ECB理事会 22日：イングランド銀行(BOE)金融政策委員会	5日：中国・全国人民代表大会開幕 6日：豪州金融政策決定会合 7日：トルコ金融政策決定会合 21日：ブラジル金融政策決定会合 26-28日：南アフリカ金融政策決定会合

(出所)：各種報道機関等の情報を基に静銀ティーエム証券が作成

### セミナーのご案内＜参加ご希望のお客さまは主催各店もしくは本社サポートセンター(TEL054-254-1010)へお申し込み下さい＞

日時	主催	会場	内容
3月8日(木) 14:00~15:30	清水支店	清水テルサ	1.『世界経済・金融市場の展望』 2.『ワールド・リート/通貨選択シリーズの運用報告会』
3月8日(木) 13:30~15:00	藤枝支店	BNM藤枝	1.『政治から読み取る世界経済』 2.『グローバル・ビッグデータ投資戦略の商品説明&運用報告会』
3月14日(水) 10:00~11:30	熱海支店	静岡銀行 熱海支店	1.『世界経済・金融市場の展望』 2.『ワールド・リート/通貨選択シリーズの運用報告会』
3月14日(水) 13:30~15:00	熱海支店	静岡銀行 伊東支店	1.『世界経済・金融市場の展望』 2.『ワールド・リート/通貨選択シリーズの運用報告会』
3月15日(木) 13:30~15:00	熱海支店	静岡銀行 伊豆高原支店	『これからの日本経済の成長を担う中小型株投資の魅力(グローイングカバースの紹介)』
3月16日(金) 10:30~12:00 14:00~15:30	浜松西支店	入野協働センター	1.『マーケットの現状と見通し』 2.『グローバル・ビッグデータ投資戦略/コロンブス卵の運用報告会』
3月16日(金) 13:30~15:00	浜松北支店	奥浜名湖商工会議所(細江支社)	1.『グローバルマーケットの状況と見通し』 2.『グローバル・ロボティクス株式ファンドの運用報告会』
3月20日(火) 10:00~11:30	島田支店	プラザおおるり	1.『グローバルマーケットの動向~今後の展望』 2.『グローバル・ロボティクス株式ファンドの運用状況と見通し』
3月22日(木) 14:00~15:30	浜北中央支店	浜北文化センター	1.『政治から読み取る世界経済』 2.『グローバル・ビッグデータ投資戦略の運用報告会』
3月23日(金) 10:00~11:30 13:30~15:00	浜松支店	アゴラ浜松	『大きく変化した投資環境と新しい運用手法』
3月30日(金) 10:00~11:30	三島支店	葦山時代劇場	1.『株式市場の相場展望』 2.『グローイングカバースの運用報告会』

### 【作成】静銀ティーエム証券(株) 商品部

佐野 寿宏 (日本証券アナリスト協会検定会員・日本FP協会認定CFP/1級FP技能士)  
野原 良浩 (日本FP協会認定CFP/1級FP技能士)  
長堀 新司 (日本証券アナリスト協会検定会員)